

神奈川県アイスホッケー連盟所属各チーム各位 2024 シーズンよりルールについての実施事項と準備のお願い。

■ ユニフォーム(ジャージ)について

2022年6月 プレーヤーのジャージについて国際競技規則9.3 この則に従わないプレーヤーは、試合に参加できない。ジャージはプレーヤーの体のラインに合わせ、過度に大きいものであってはならない。ジャージはパンツの端を超える長さに伸ばしてはならず、袖はグローブの指を超えて伸ばしてはならない。

メーカーが製造した標準的なプレーヤーのジャージに、挿入物や追加的な細工を加えることはできない。(メーカーでの改造は、IIHFの事前承認がない限り認められない。)

ユニフォームの支配的な色は、氏名と番号を除き、ジャージとストッキングの約80%を占めていなければならない。

ジャージは完全にパンツの外側に着用し、タイダウンストラップで常にパンツに適切に固定しなければならない。そのチームのプレーヤーが警告後に従わなかった場合はマイナー・ペナルティが科される(63.2. ix「試合の遅延」を参照)。

➤ 日ア連通達

準備期間を考慮し、日ア連主催大会、全国大会(インカレ・インターハイ・国体・全国中学)全国大会予選等は、「2023年12月1日」から実施する。(小学生のカテゴリーは、除外する)それ以外の日本国内の試合に関しては、「2024年8月1日」を期限とし各加盟団体の指導のもと可能な限り速やかに適用する。(小学生のカテゴリーは、除外する)

➤ 県連として

ユニフォーム(ジャージ)のタイダウンストラップについては2025年9月1日から完全義務化とする。その間、神奈川県アイスホッケー連盟主催以外の各種大会に出場する場合は主催、主管する連盟が決めた大会要項、ルールに必ず従うものとする。

ユニフォーム(ジャージ)の背中に入れるネームは姓(苗字限定)を正確に表記する件については2026年9月1日から完全実施をします。

実施までの期間と2026年9月以降についても、試合に参加するプレーヤーが着用するユニフォームの表記が実際と異なる場合は、ユニフォームと同色の生地または同等の物により正し表記に修正または隠す様にしてください。移行期間中に神奈川県アイスホッケー連盟以外の大会に参加する場合は、主催・主管する連盟が決めた大会要項、ルールを確認し従ってください。

- 20歳以下の選手について、
IIHFルールでは20歳以下の選手については、フルフェイスマスクを着用していてもマウスガードとネックガード、イヤガードの着用は義務となっています。
- 県連として
上記の事から全ての大会において同好会チームの場合は20歳以下の選手が試合に出場する場合はルール上必須といたします。大会参加申し込み時点で20歳以下の選手がいるチームについては試合整列時にレフェリー・ラインズパーソンが事前に選手名簿でリストチェックした20歳以下のプレーヤーに対し、用具チェックの確認を行います。

- ヘルメット・イヤ(耳)ガードについて
全てのカテゴリーにおけるプレーヤーにおいて、用具は安全基準に適合していなければならずプレーヤーを保護することを目的としすべてのプレーヤーは、アイスホッケー用に承認されたデザイン、素材、構造のヘルメットを着用しなければならない。
カテゴリー別に指示はありますが基本的には付属品を取外してプレーに参加することは出来ないためペナルティの対象になります。
- 県連として
安全性を考慮し、2024年9月1日より義務化とする。一般社会人チーム及び神奈川選手権と国スポ神奈川県予選に出場するチームに通達を出しレフェリーにより試合開始前に主将に対してイヤガードのない選手に対してはペナルティを課す旨を説明する。
- 7月28日開催の日ア連関東ブロックレフェリークリニックにて
付いていない選手はペナルティの対象となります。とありましたので早急な実施事項となります。

- 日本国内における「首・のど用プロテクター(ネックガード)」着用方針について
- 日ア連通達
2023年12月、日ア連は着用方針としてすべてのカテゴリーのプレーヤーに「首・のど用プロテクター(ネックガード)」を着用することを強く推奨します。(努力義務)
U20以下・女子に適用されている「首・のど用プロテクター(ネックガード)」については着用義務に変更はありません。
今後、「首・のど用プロテクター」の国内供給の目処が立ち次第、全カテゴリーでの着用を義務化する予定です。適用期日は、供給体制が整うまで十分な猶予期間を設けることとし改めて通知いたします。
- 神奈川県連として
日ア連の動向を注視し通達に沿って実施時期を決めていく事となります。すべてのカテゴリーにおいてゴールテンダーについては着用が必要なのかについては確認し対応する事となります。
- 7月28日開催の日ア連関東ブロックレフェリークリニックにて
2024シーズンから国民スポーツ大会成年本戦、全日本選手権(A)・(B)に参加する選手については

ネックガードの着用が必須予定となります。(別途日ア連より通達予定)

➤ 7月28日開催の日ア連関東ブロックレフェリークリニックにて

この件について、追加事項として全ての categorie で、試合中(プレー中)に首・のどのプロテクター(ネックガード)が頻繁に外れてしまう選手については、改善を指示しその改善がされない場合は適切なペナルティを課す事が必要となる。

■ 神奈川県アイスホッケー連盟主催試合(マウスガード着用含む)について

県内大会において小学生・中学生・女子については整列時に用具のチェックを行っているが、成年については(神奈川県選手権・国スポ県予選)については施設貸し切り時間の関係から行っていないのが現状ですがレフェリーに対し試合中に選手からマウスピースを含む用具について必要以上に指摘をするチームがある。

➤ レフェリー委員会として

整列時に諸注意事項と一緒にイヤークガード(耳当て)、マウスガード、エルボーの確認はしないが試合中にイリーガル・イクイップメントのペナルティとして発見した際は、マイナー・ペナルティではなく、最初からミスコンダクト・ペナルティを課しその後も同じ選手による2回目の同一ペナルティを発見した際は、ゲームミスコンダクト・ペナルティを告げ該当選手は、その日の残りゲームについては出場出来ない事とする。

➤ 県連として

- この場合の処理については、1回目でイリーガル・イクイップメントのミスコンダクトペナル10分とし2回目はゲームミスコンダクト・ペナルティに該当するため正規の処理では、レフェリー報告書➡懲戒委員会➡日ア連審議委員会に報告となるため県連ローカル・ルールをつくりペナルティ処理方法は、当該選手はその日の残りゲームについては出場出来ない事とする。
- ゲームシートの処理は、1回目イリーガル・イクイップメントでミスコンダクトペナル10分2回目はイリーガル・イクイップメントによるミスコンダクト・ペナルティ2回目となるのでペナルティ項目は OTHERS とし、ゲームミスコンダクト・ペナルティと同じ20分で処理する。ゲームシートの NOTES にペナルティタイム・チーム名・背番号・該当ペナルティ名記載する。

以上を神奈川県アイスホッケー連盟・競技本部競技委員会とレフェリー委員会で調整の結果として県連所属各チームに文章として通達し2024年9月シーズンより適応とする。

2024年8月1日

神奈川県アイスホッケー連盟

競技本部競技委員会

レフェリー委員会